

はじめに

学校長 菊川 恵三

例年になく寒さのせいでしょうか、いつも以上に陽光の輝きが待ち遠しい、そんな季節になりました。いじめや暴力とマスコミに大きく取り上げられる事件とは別に、日々のさまざまな問題に悩まされています。そんな中で、今年も日ごろの実践を論文にし、皆さまにお届けできることは喜びです。

さて、本年度は「学びをデザインする子どもたち ～3つの対話の充実によって～」をテーマに研究を進めてきました。「学びをデザインする」とは、課題解決のプロセスを設計することであり、その主体を「教師」ではなく、「子ども」においてみようという新たな試みです。一般的なわかりやすい表現ではありませんが、サブテーマに挙げた対象・他者・自己の「3つの対話の充実」同様、私たちの研究の深まりの中で生み出されたものです。

この紀要では、秋の教育研究発表会で公開したものをもとに、各部会の協議を重ね「教科提案」として示したうえで、それぞれの教員が授業を振り返りました。その作業はずいぶん骨の折れるものですが、それを通して一歩進むことができたと考えています。ご一読いただき、ご意見をおよせいただければ幸甚です。

最後になりましたが、今年度も本校のさまざまな教育研究活動にご協力いただきました皆さまに感謝するとともに、新しいメンバーで始まる新しい年度も皆さまと一っしょに歩んでいきたいと願っております。

2013年3月